令和　8　年　2　月　10　日

あなたが支える市民活動応援事業　補助金交付申請書

大分市長　足立　信也　殿

所　在　地　[redacted]
団　体　名　NPOチームおせっかい
代表者氏名　後藤　由布
団体連絡先　[redacted]
担当者氏名
担当者連絡先

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第５条の規定により、次のとおり申請します。

記

１．事　業　名　何者でもない食堂（中間層を対象とした居場所づくり）

２．事業の概要　大学生や若者、独身者、単身者など子どもや高齢者には属さない中間層「何者でもない人」を対象にした地域食堂（居場所）を隔月に１回公民館等で実施。調理は活動者（高齢者・子育てが落ち着いた人たち）と参加者が一緒に行い、みんなで食べ、食事後はそれぞれが自由に過ごせる場づくりも行う。

３．事　業　費　69,400 円

４．交付申請額　31,900 円

５．概 算 交 付　□概算交付を希望する。
☑概算交付を希望しない。
※概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。

６．添 付 書 類
(1)　団体調書（様式１－１、１－２）
(2)　事業計画書（様式２）
(3)　収支予算書（様式３）
(4)　団体要件・事業要件確認シート（様式４）
(5)　誓約書（様式５）
(6)　規約、会則、定款等の写し
(7)　その他市長が必要と認める書類

（ⅰ.本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます）
（ⅱ.この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。）

団体調書　（様式１－１）

１．団体の概要

（ふりがな）団体名	えぬぴーおーちーむ NPOチームおせっかい			
所在地	〒[redacted]			
（ふりがな）代表者氏名	ごとう ゆう 後藤　由布	メール（団体）	osekkaiteam@gmail.com	
電話（団体）	[redacted]	FAX（団体）		
設立年月日	令和3年11月1日	団体構成員数	6	名
HP、SNS等 URL、ID等を記入	【Instagram・X】@teamosekkai_ 【Facebook】https://www.facebook.com/share/1HirV8TXZV/?mibextid=wwXIfr			
活動の分野 ※別表参照	主分野	①保健、医療又は福祉の増進を図る活動		
担当者 ※この申請について対応できる方	書類送付先住所	〒[redacted]		
	（ふりがな）氏名	[redacted]	メール	[redacted]
	電話	[redacted]	FAX	[redacted]

主な活動地域

☐市内全域				
☐大分中央	☐大分東部	☐大分西部	☐大分南部	☐南大分
☑鶴崎	☐大南	☐稙田	☑大在	
☑坂ノ市	☐佐賀関	☐野津原	☐明野	

団体の活動目的
※簡潔明瞭に記入してください

若者や独身者、単身者などの中間層「何者でもない人たち」が共に食事や交流ができる場「何者でもない食堂」を開催することにより、孤独孤立・孤食防止、コミュニティ形成に寄与することを目的とする。

これまでの主な活動実績

年度	事業名	実施回数	参加者数
令和4	何者でもない食堂	9 回	108 名
令和5	何者でもない食堂	10	140 名
令和6	何者でもない食堂	6 回	92 名

これまでに補助や委託を受けた実績

年度	補助（委託）元	補助事業名	金額
令和4	さわやか福祉財団	地域助け合い助成	110,000 円
令和5	大分市	あなたが支える市民活動応援事業	41,438 円
令和6	大分市	あなたが支える市民活動応援事業	38,281 円

（様式１－２）

２．活動計画書

事業の実施に関する事項

⑴公益的活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	受益対象者延べ人数（予定）	実施予定回数	予算額（千円）
何者でもない食堂(中間層を対象とした居場所づくり)	大学生や若者、独身者、単身者などの中間層「何者でもない人」を対象にした地域食堂を開催	隔月1回	鶴崎・大在坂ノ市地域の公民館	75	5	69
小　　計					(a) 5	(c) 69

※太枠の中に１％応援事業補助対象事業を記載してください。

⑵その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	受益対象者延べ人数（予定）	実施予定回数	予算額（千円）
小　　計					(b) 0	(d) 0

合　　計	(a) + (b) 5	(c) + (d) 69

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (a) + (b) 100 % (A)	(c) / (c) + (d) 100 % (B)
全活動に占める公益的活動の割合 ｛（A）＋（B）｝÷２ ※小数点以下は四捨五入してください。	100 %	

（様式２）

事業計画書

事業名	何者でもない食堂(中間層を対象とした居場所づくり)	
事業内容	主な対象者	大学生、社会人、単身者、独身者など「何者でもない人」
	内　容	公民館で隔月1回夜に一人暮らしをする若者や社会人などを対象にした地域食堂を開催。調理はＮＰＯチームおせっかいと参加者(希望者)で行い、食事を一緒に食べ、食後はテーブルゲームや話をするなど参加者同士で交流をする。時間内であれば入退室は自由。 開催日時…土曜日夜１８時～２１時（調理は１６時～） 募集人数…１５名程度（１回） 参加費…１人５００円 募集方法…事前申込制
事業スケジュール ※別紙添付可	時期（月）	内　容
	5　月	何者でもない食堂
	7　月	何者でもない食堂
	9　月	何者でもない食堂
	11　月	何者でもない食堂
	2　月	何者でもない食堂（女子会）
	3　月	実績報告書提出予定
広報計画・方法 ※参加市民等の受益対象者の増加に向けた具体的な広報計画	☐ ホームページ　☑チラシ、広報誌　☑Facebook等SNS ☐ その他（具体的に） ＳＮＳ（Ｘ、Ｉｎｓｔａｇｒａｍ、Ｆａｃｅｂｏｏｋ、ＬＩＮＥ公式アカウント）で毎回開催前に告知をするほか、会場周辺でのポスティング活動も実施する予定。	
自己収益金の拡大に向けた取り組み ※自己収益金とは会費収入、事業収入や寄付金収入等であり、補助金や交付金による収入は含まれません	これまでは坂ノ市・大在公民館での開催がほとんどだったが、活動周知・参加者の固定化防止を目的にこれまで開催したことがない地域（明野エリア）での開催や対象者を絞った（例：若年層限定、女性限定）企画を検討中。また、大分県内、他県でもあまり例のない活動のため、活動報告をさせていただける機会があれば積極的に参加をし、参加希望者・支援者との出会いに繋げたい。	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか	２０～３０代は孤独感を抱く割合が高い一方で、このような子どもや子育て世代、高齢者に属さない中間層「何者でもない人たち」は支援が行き届いておらず、大分県内では支援する団体も少ない。さらに何者でもない人たちは子どもや子育て家庭、高齢者が多く集う子ども食堂にも行きづらい状況である。何者でもない食堂はそのような中間層を対象にした居場所であり、参加をすることで新たな友人ができたり、親しい人たちには打ち明けづらい話ができ、孤独感の解消に繋がっている。活動を開始し4年目になるが、最近ではこどもが巣立ち一人暮らしをされている方や地域活動や居場所づくりでは呼びかけが難しいとされる1人暮らしをする男性の参加も増えており、１０代～７０代まで様々な世代が交わる場所になっている。さらに、栄養バランスのとれた食事を作る、食べることで忙しい若者や社会人の食生活の改善にも繋がっている。また、何者でもない食堂のメニュー考案や調理を支える活動者は料理好き・上手でありながら身内以外に振る舞う機会のなかった人たちの活躍の場にもなっている。	
新規事業・継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 ☐ １％応援事業の交付申請をするのは初めてである。 ☑ 以前に１％応援事業の交付申請をしたことがある。	

（様式３）

収支予算書

事業名：　何者でもない食堂(中間層を対象とした居場所づくり)

１　【収　入】　（単位：円）

項　目	金　額	説　明　（積算等）
補助金収入	31,900	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	37,500	参加費（500円×75名＝37,500円）
事業収入		
寄附金収入		
その他		
合　計	69,400	

２　【支　出】　（単位：円）

項　目	金　額	説　明　（積算等）
報償費		
旅　費		
消耗品費	6,000	キッチン用品、衛生用品、事務用品
燃料費		
食糧費		
印刷製本費	4,000	チラシ印刷費用
通信運搬費		
広告料		
保険料	3,500	ボランティア保険料（5回分）
手数料・委託料		
使用料・賃借料	18,400	公民館使用料　3,680円×5回
原材料費	37,500	食材費（補助対象外）
備品購入費		
合　計	69,400	[補助対象経費　31,900]

備考　補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。
　　なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。